

2022年8月1日

【インパクト投資】株式会社クリーンエナジーコネクトへの投資 ～オフサイトコーポレートPPAの拡大を通じて、再エネ普及を加速し脱炭素社会への移行を後押し～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、法人向けに再生可能エネルギーのソリューションを提供する国内ベンチャー企業の株式会社クリーンエナジーコネクト(代表取締役:内田 鉄平、以下「クリーンエナジーコネクト」)に対し、ESG投資の一環であるインパクト投資¹として3億円の投資を実施しました。



- 法人向けに低圧・分散型オフサイトコーポレート PPA (Power Purchase Agreement) の提供を行うベンチャー企業
- オフサイトコーポレート PPA は、電力需要施設と離れた土地に太陽光発電所を設置し、発電した電気を環境価値と共に電力需要施設に送るというスキームを利用した電力調達方法

- クリーンエナジーコネクトは、国内の土地を有効活用し、中小規模の太陽光発電所を分散して設置することで、周辺環境への影響や自然災害によるリスクを抑えつつ、低コストかつ短期間での開発を実現
- 近年、RE100 (Renewable Energy 100%)²の達成等に向けて取り組む企業が増加する中、同サービスを通じて「追加性」³のある再生可能エネルギー普及を加速させ、脱炭素社会の早期移行への後押しが期待される



《社会的インパクト》

CO2排出量削減
 気候変動緩和

追加性のある再生可能エネルギーの普及を通じ、
 CO2排出量削減・気候変動緩和に寄与



当社は 2021 年9月にクリーンエナジーコネクトとオフサイトコーポレート PPA のサービス契約を締結⁴しています。当社自身が 2023 年度末までに 100%再生可能エネルギー (RE100) 化を推進するとともに、国内のオフサイトコーポレート PPA 事業の更なる拡大を通じ、再生可能エネルギーの普及が加速することを期待しています。

本投資を通じて、高い投資収益を期待するとともに、CO2排出量削減・気候変動緩和 (社会的インパクト) が期待されるクリーンエナジーコネクトの取組みを資金面からサポートし、その進捗状況を継続的にモニタリングしていきます。当社は、引き続き運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG投資に積極的に取り組んでいきます。

¹インパクト投資とは、運用収益の獲得と社会的インパクト (社会の構造変化等) の創出の両立を意図して投資判断を行う投資手法。

²事業活動で消費する電力を 100%再生可能エネルギーで調達することを目標とする国際的イニシアティブ。当社は 2019 年8月に加盟。

³追加性とは、企業が自社専用の発電所を新しく作るなど、再生可能エネルギー電源を新規に導入すること。

⁴「金融機関初となる環境省モデル事業に認定されたオフサイトコーポレート PPA の開始 ～使用電力の 100%再生可能エネルギー化 (RE100) 達成に向け、追加性のある再エネ調達を加速～」 https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2021_042.pdf

株式会社クリーンエナジーコネク代表取締役 内田 鉄平氏は以下のように述べています。



クリーンエナジーコネクは、脱炭素経営企業や RE100 参加企業等のお客様に対し、お客様専用の Non-FIT 太陽光発電所からの電気と環境価値を、オフサイトコーポレート PPA サービスという新しい仕組みを活用してご提供することにより、お客様の脱炭素・RE100 をサポートしている企業です。FIT 制度に頼らずに再生可能エネルギーの利用を増やすことができるこのサービスは、実効的な気候変動対策として、大きなインパクトをもたらすと考えています。今回投資いただきました資金を元に、今後もより一層高まるお客様の脱炭素化・再エネ導入のニーズに応えるため、お客様のパートナーとして、最適なグリーン電力の導入計画の立案から実行支援、そして導入後の効果検証までをワンストップでご提供するグリーン電力ソリューションを強化していきます。

【クリーンエナジーコネク会社概要】

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 商号 | 株式会社クリーンエナジーコネク |
| 本社所在地 | 東京都千代田区麹町6-2-6 |
| 代表者 | 代表取締役 内田 鉄平 |
| 設立 | 2020年4月 |
| 事業内容 | 法人向けグリーン電力ソリューション事業、Non-FIT 再エネ発電事業 |

《ご参考》これまでのインパクト投資事例(直近3年間)

| 案件名 | リリース日 | URL |
|---|-----------|---|
| 【インパクト投資】モジュラス株式会社への投資 ～医薬品の開発期間短縮・コスト削減を通じ、万人がアクセスしやすい医療の実現に貢献～ | 2020/5/13 | https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2020_015.pdf |
| 【インパクト投資】株式会社メトセラへの投資 ～心不全患者向けの新たな治療法の開発・提供を通じた健康寿命延伸への貢献～ | 2021/1/4 | https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2020_079.pdf |
| 【インパクト投資】株式会社シェアリングエネルギーへの投資 ～住宅用太陽光発電等の分散型再生可能エネルギー電源創出を通じたCO2排出削減への貢献～ | 2021/2/15 | https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2020_090.pdf |
| 【インパクト投資】GITAI Japan株式会社への投資 ～宇宙用作業ロボットの研究・開発による宇宙開発の促進を通じて経済成長に貢献～ | 2021/3/1 | https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2020_095.pdf |
| 【インパクト投資】ノイルミュン・バオテック株式会社への投資 ～次世代がん免疫療法の開発・提供を通じた健康寿命延伸への貢献～ | 2021/3/22 | https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2020_104.pdf |
| 新興国向け再生可能エネルギーインフラファンドへの投資 ～官民共同での再生可能エネルギー開発支援を通じ、気候変動問題の解決に貢献～ | 2021/7/8 | https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2021_025.pdf |
| 【インパクト投資】PaMeLa 株式会社への投資 ～脳波を用いた痛みの“見える化”を可能とする医療機器の開発を通じて患者のQOL向上に貢献～ | 2021/9/29 | https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2021_043.pdf |
| 【インパクト投資】WASSHA株式会社への投資 ～アフリカの未電化地域への電力サービスの提供を通じて、持続可能な発展に貢献～ | 2022/6/10 | https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2022_018.pdf |
| 【インパクト投資】READYFOR 株式会社への投資 ～寄付・補助金市場の活性化を通じ、「想い」の乗った支援の溢れる社会を実現～ | 2022/7/13 | https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2022_026.pdf |
| Ubie 株式会社への投資 | 2022/7/27 | https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2022_029.pdf |